

環境活動レポート第15回



発行日: 2024年10月1日

那賀川電機株式会社

代表取締役 栗本 利幸

1. 事業活動の概要

(1) 事業者名及び代表者名

那賀川電機株式会社

代表取締役 栗本 利幸

(2) 所在地

本社:徳島県徳島市住吉2-9-36

工務事務所:徳島県徳島市住吉2-8-391-6

倉庫(阿南):徳島県阿南市津乃峰町中分86-1

資材置場(国府):徳島県徳島市国府町北岩延壱里塚

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者:栗本 剛幸

担当者 :栗本 剛幸

連絡先 電話:088-625-3554 ファックス:088-654-7763

(4) 事業内容

特定建設業(電気工事業)一般建設業(電気通信工事業)

認証登録範囲は全組織、全活動を対象とする。

(5) 事業の規模

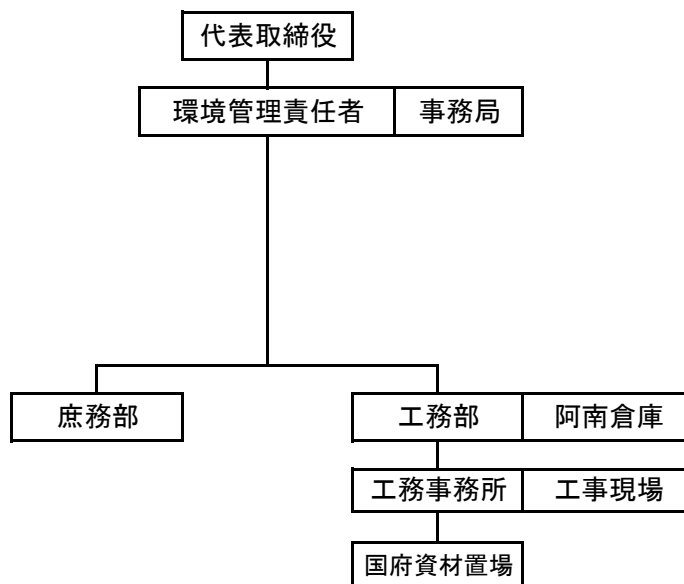
資本金 2千万円

売上高 3.6億円/年

従業員 11名

延べ床面積 1610㎡

(6) 実施体制図



(7) 認証・登録の対象範囲

認証登録範囲は全組織、全活動を対象とする。

※内容は上記と同じ

那賀川電機株式会社

環境方針

＜基本理念＞

那賀川電機株式会社は、当社の事業（一般電気・高圧受電・消防・冷暖房・電気通信設備、設計、施工）を通じて、地球環境保全を第一と考え、循環型社会の構築、運用、維持を実施し地域社会とのコミュニケーションを保ち、社会に貢献する企業を目指します。

＜基本方針＞

基本理念に基づき、以下に基本方針、目標を定め、環境保全活動に取り組んでいきます。

当社の事業活動により、環境保全の継続的改善を積極的に行ない、社会的責任に努めます。

- ①電力の二酸化炭素排出量の削減。
- ②自動車燃料の二酸化炭素排出量の削減。
- ③一般廃棄物の排出量の削減。
- ④産業廃棄物（廃プラスチック）の排出量の削減。
- ⑤水使用量の削減。
- ⑥事務用品のグリーン購入の推進。
- ⑦製品への環境配慮（電線のロス削減）。

環境関連法規等を順守します。

全従業員に環境教育を継続的に実施し、環境に配慮できる人材育成に努めます。
当社の環境方針を全従業員に周知徹底するとともに、環境活動レポート等により公表します。

制定日：2010年7月1日

那賀川電機株式会社
代表取締役

栗本 利幸

3. 主な環境負荷の実績

項目		単位	2024年度	2024年度	2024年度
			目標	実績	達成率
二酸化炭素排出量(電力)(事務所)		kg-CO2/年	3538	3389	104%
二酸化炭素排出量(自動車)(現場)		kg-CO2/年	49632	20801	239%
	電力(事務所)	kWh/年	8643	8245	105%
	ガソリン(現場)	ℓ/年	11068	5817	190%
	軽油(現場)	ℓ/年	9275	2832	328%
一般廃棄物(事務所)		kg/年	77.4	77	101%
廃プラスチック(現場)		kg/年	156	103	151%
総排水量(事務所)		m³/年	204	197	104%
事務用品グリーン購入(事務所)		件	3	3	100%
製品への環境配慮(電線)(現場)		比率＝%	92	92	100%

$$\text{比率} = \frac{\text{実質延長}}{\text{電線・ケーブル全延長}}$$

注: 事業年度 = 10月～9月

4. 環境目標

(1) 事業所の活動(事務所編を記入)

項目	単位	2010年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
		(基準年)	年度目標	目標	目標	目標
二酸化炭素排出量(電力)[事務所]	kg-CO2/年	2711	3538	3502	3496	3491
二酸化炭素排出量(自動車)[現場]	kg-CO2/年	53889	49632	49093	48554	48015
電力[事務所]	kWh/年	7173	8643	8522	8394	8268
	ガソリン[現場]	12006	11068	10937	10806	10676
	軽油[現場]	10059	9275	9164	9054	8945
一般廃棄物[事務所]	kg/年	84	77.4	76.4	75.7	74.8
総排水量[事務所]	m ³ /年	221	204	202	200	198
事務用品グリーン購入[事務所]	件	1	3	3	3	3

注: 事務所の活動において、上記項目より現場+事務所とする。

注: 電力のCO2換算係数(0.411kg-CO2/kWh)

(2) 建設現場等の活動

項目	単位	2010年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
		(基準年)	年度目標	目標	目標	目標
廃プラスチック(現場)	kg/年	210	156	154	152	150
製品への環境配慮(電線)(現場)	比率=%	80	92	93	93	93

・グリーン購入は、当面事務用品を対象に行い、今後は、事業活動に使用する材料・部品や作業に使用する設備・工具についても環境配慮品の採用を模索して行きたい。

・化学物質は使用がないため、目標設定から除外します。

5. 主要な環境活動計画の内容

取組項目		活動計画の内容
二酸化炭素排出量削減	電力の二酸化炭素排出量削減	・エアコンの温度設定 事務所：冷房 26℃、暖房 20℃ ・年一回エアコン清掃 ・昼休みの30分間消灯 ・効率的な仕事をする ・夜間作業を極力少なくする
	自動車燃料の二酸化炭素排出量削減	・エコドライブの励行 ・適正な車両整備 ・効率的な業務の徹底 ・車内表示
廃棄物排出量削減	一般廃棄物排出量削減（コピー用紙）	・極力用紙からPDFに変更 ・プレビュー徹底 ・メールにて通達
	産業廃棄物排出量削減（廃プラスチック）	・計画時に正確な数値で拾い出しをする ・手戻りを極力抑える ・支障なき箇所に再利用を行う
水使用量削減		・節水バルブを80%に調整する ・節水呼びかけをする
グリーン購入の推進		・エコマーク商品を積極的に購入する ・再生紙の検討
電線・ケーブルのロス削減		・前もって実測する ・下請けの指導

6. 環境活動の取組結果の評価

取組結果と評価

取組項目	2024年度目標	現在までの取組結果 (2023年10月～2024年9月)	評価と次年度の取組
二酸化炭素排出量削減(電力)	目標 3538kg-CO2以内	実績／目標＝3389/3538kg-CO ₂	目標達成 次年度は省エネに努めたい。
電力使用量削減	目標 8643kWh以内	実績／目標＝8245/8643(kWh)	目標達成 次年度は省エネに努めたい。
二酸化炭素排出量削減(自動車)	目標 49632kg-CO2以内	実績／目標＝20801/49632kg-CO ₂	目標達成 次年度は省エネに努めたい。
ガソリン使用量削減	目標11068ℓ以内	実績／目標＝5817/11068(ℓ)	目標達成 次年度は効率的な業務に努めたい。
軽油使用量削減	目標9275ℓ以内	実績／目標＝2832/9275(ℓ)	目標達成 次年度は効率的な業務に努めたい。
廃棄物排出量			
一般廃棄物	目標77.4kg以内	実績／目標＝77/77.4(kg)	目標達成 次年度はPDF化 データ化を行い、ゴミ削減にも努める。
産業廃棄物(廃プラスチック)	目標156kg以内	実績／目標＝103/156(kg)	目標達成 次年度は省エネに努めたい。
水使用量	目標204m ³ 以内	実績／目標＝197/204(m ³)	目標達成 次年度は節水に努めたい
グリーン購入の推進	年間3件	実績／目標＝3/3(件)	目標達成 次年度は維持継続していきたい
製品への環境配慮(電線)	比率92%	実績／目標＝92/92(%)	目標達成 次年度は材料の拾い出しの際、注意する

※廃プラスチック(現場)の目標値を前年度、前々年度の平均値で156kg以内に変更。前年度、目標未達成のため。

7. 主な環境関連法規制の遵守状況(○の部分のみ)

(1) 当社に適用される法規制等の主な遵守状況

法規制等の名称	該当する活動	遵守状況
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の保管、運搬・処分 の委託契約、管理票運用	遵守
容器包装リサイクル法	市町村が定めた分別の基準に従い容器包装廃棄物も適正に分別排出する	遵守
家電リサイクル法	小売店へ料金を支払い引き渡す又は自治体指定の方法で引き取り依頼する	遵守
フロン排出抑制法	撤去の際に、留意しておく 業務エアコンについては、3ヶ月に1回、簡易点検	遵守
建設廃棄物処理マニュアル	マニフェストに基づく適正処理の実施	遵守
建設工事公衆災害防止対策要綱	付近居住者等への周知・埋設物の確認 掘削土排出時の塵芥・騒音防止の措置	遵守
現場で同意するその他の要求事項	発注者の様式に従う	遵守
発注者の要望	発注者の様式に従う	遵守
道路交通法	道路における対象工事・作業の許可申請	遵守
道路法	継続して道路を使用する対象物件の許可申請	遵守
地方条例	徳島県条例等に準拠する	遵守

(2) 違反、訴訟等

環境関連法規への違反、訴訟、苦情はありません。

なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去14年間ありません。

8. 代表者による全体の評価並びに見直しの結果

①昨年度は、廃プラが未達成になってしまったが、目標を見直すことにより達成出来た。

元請工事、下請工事の減少により、排出量変動してしまう所もあるが従業員にも対策を怠らないようにしてもらう事と、その都度目標値等の見直しをしていく。

②環境経営システムの運用を始めて14年たったが、

再度、理解をしてもらう箇所もある。

今後も活動維持、クリーンエネルギーの活用をはかる。

③二酸化炭素排出量(自動車)(現場)、がかなり削減されている。

元請工事、下請工事の減少に伴い、目標の見直しを行う。

但し、対策は怠らないようにする。

④新型コロナウイルスは、昨年から第5類となり

マスクの着用が任意になった。だが、冬にかけて

インフルエンザが流行する恐れがある。

アルコール消毒、インフルエンザワクチン予防接種の推奨

マスクの着用励行など最新型に備えて感染予防対策は行っていく。

※目標達成はしたが、元請工事、下請工事の減少により

目標設定を見直ししていく。

	見直しの有無
環境方針	無(継続)
環境目標	有
環境活動計画	無(継続)
実施体制	無(継続)